

ついでに レポート No. 414



日本共産党区議会議員 おぐり智恵子の

議員活動報告

事務所: 中央区日本橋人形町1-10-8
自宅: Tel/Fax 3249-1762発行・日本共産党中央区議会議員団 Tel 3546-5563
HPアドレス <http://www.jcpchuo-kugidan.jp/>

豊洲市場の開場認可やめよ



小池知事に「安全宣言」の撤回を求める共産党都議団=8/1

農水省に豊洲市場を認可
しないよう求める共産党
国会議員団Ⅱ8/3(写
真はしんぶん赤旗より)

「安全宣言」撤回を

築地市場の豊洲新市場への移転問題で、小池百合子知事は7月31日に「安全宣言」を行い、8月1日には農林水産大臣に認可申請を提出しました。

豊洲新市場は、7月30日公表の調査結果でも、地下水から土壌汚染対策後の最高値となる環境基準の170倍のベンゼンが検出されるなど、土壌汚染問題は何ら解決していません(裏面参照)。

日本共産党都議団は8月1日、「事実の裏付けがない、偽りの宣言だ」と批判し、知事に「安全宣言」の撤回を求めました。

申請の「認可」やめよ

日本共産党国会議員団の笠井あきら・宮本徹衆議、吉良よし子・山添参議らは、8月3日、農水省に出向き、豊洲市場の開場を認可しないよう求めました。

笠井氏は2007年、当時の福田内閣へ質問主意書を提出。その答弁書では、国が都に対し、▼食の安全性や信頼の確保のため万全の対策をとること▼消費者等に対して対策の内容等について十分な説明を行い、その理解を得ることを求めています。農水省は、「現在も答弁書の立場は変わっていない」と回答しています。

豊洲市場の安全性の確保も、業者や消費者の「理解」も得られていない中、農水省が示した認可の条件を満たしていないことは明らかです。私たち日本共産党区議団は、都議団・国会議員団と連携して、農水省に対し、豊洲市場の開場を「認可」しないよう、強く求めています。



毎月第3土曜日の築地移転反対の宣伝は8月で96回目、9月には9年目に入ります

土壌汚染は深刻なのに

専門家会議が「安全」と評価

7月30日、豊洲新市場の土壌汚染対策を提言してきた専門家会議（平田座長）は、土壌汚染の追加対策工事を追認し、「将来リスクを踏まえた安全性が確保された」との評価を示しました。

この日公表した6月の地下水調査では、土壌汚染対策後最大となる環境基準の170倍のベンゼンが検出（青果売場棟がある5街区の井戸）されました。まだ地下には深刻な汚染が残っているのです。

追加対策は、本来行うはずだった土壌汚染対策の盛り土に変わって専門家会議が提言したもので、



豊洲市場（7街区施設管理棟）
＝7月29日おぐり撮影

①地下空間の床面にコンクリートを敷設し、換気を行う。②揚水井戸を増設し、地下水位を管理するというものです。

しかし、海拔1・8メートルで維持管理するとしていた地下水位は、観測井戸33カ所中16カ所で達成できず、うち8カ所では「当面の目標」とした海拔2・0メートルも達成できていません。

地下水位が下がらず、盛り土が再汚染された可能性について、平田氏は「分からない」としながら、再調査は行わないと述べました。

検出されてはいけない猛毒のシアンは23カ所中17カ所で検出されました。

都民や市場業者の目の届かないところで「安全」だと結論づけるのではなく、移転を中止して築地での再整備を行うべきであり、少なくとも豊洲新市場の10月開場は延期すべきです。



フォトニュース

都用地を近隣の10分の1で「投げ売り」、2020東京五輪の選手村建設が進められている晴海地区＝7月29日おぐり撮影

◆無料法律相談◆

毎月第3火曜日3時から
要予約→☎3249-1762



おぐり智恵子のブログ
「マロンレポート」
ほぼ毎日更新
ご覧下さい

▼8月15日は、73年目の終戦記念日でした。十思公園では今年も、戦没者の追悼と恒久平和を願う「終戦記念日に石町の鐘を撞く会」が行われました▼十思公園は、昭和20年3月の東京大空襲で犠牲になった人々が運び込まれた所です。
「戦争は二度とごめんだ」体験された方が語っていました▼日本が引き起こした侵略戦争によって、2千万人以上のアジアの人々が命を奪われ、日本人も310万人が犠牲になりました。この侵略戦争への痛切な反省から生まれたのが日本国憲法です▼「戦争はしない」「軍隊は持たない」。



そう定めた憲法を変えるため、自民党は秋の臨時国会で、9条改憲の国会発議を行おうとしています▼安倍政権は「北朝鮮の脅威」を口実に、改憲と軍拡の道をすすめてきましたが、米朝首脳会談で、朝鮮半島の非核化、東アジアの平和体制の構築に向かって激動が起こっています▼日本共産党は、党をつくって96年、命がけで戦争反対を貫いてきた政党です。改憲を許さない3千万人署名にも取り組んでいます▼戦争か平和かの歴史的岐路の中で迎えた戦後73年目の夏。戦争させない決意新たに、石町の鐘を撞きました。